



Uwasamon うわさもん



益城の若もんも、がまだしょっぱい!

町でうわさの若者を紹介。
夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

7人制ラグビー(女子)

名前 みやもり あみ
宮守 杏実さん (15)

行政区 **馬水南**

熊本国府高等学校1年生
所属/スウィーティー レディ ペアーズ
東京五輪育成指定選手 7人制女子ラグビー(県指定)
7人制ラグビー女子U-15九州ブロック代表(2013)



6年後に開催される東京五輪・パラリンピックで活躍できる選手の育成を目指し、県教育委員会が県内でトップレベルの中高生アスリート45人を育成選手に指定した。その中の一人に熊本国府高等学校1年生の宮守杏実さんが7人制ラグビー(女子)の育成選手に選ばれた。

「これでおもいつきラグビーができる」。学校で吉報を受けた杏実さんは喜びを噛みしめながら帰宅。すぐに母に伝えた。「うわー! よかったねー!」と、思わず母の歓喜は、家の外にいた父にも届くほどだったそうだ。

そんな杏実さんがラグビーと出会ったのは、杏実さんの兄のプレーを見たことだった。「正直すごいなと思って憧れました。それで小学6年の夏に女子ラグビーチームの『スウィーティー』に入りました。チームの『いちのみやひろゆき一ノ宮博幸監督は、体の芯の強さ、身体能力の高さ』が杏実さんの魅力と語る。昨年は15歳以下の九州代表にも選ばれた杏実さんは「これが2度目の挑戦。家族の応援に励まれて嬉しかった。全国大会で輝きたかった」と話す。9月に開催された全国大会では健闘し、九州代表の優勝に貢献。今回の育成選手指定にもつながる大きな実績を残した。

50mを7秒3で走る俊敏さと緩急のある身のこなしを武器に、スクラムハーフとしてプレー。今年の夏休みは、茨城の流通経済大学女子ラグビー部と一緒に韓国遠征合宿にも果敢に挑戦する。

「夢は東京五輪でプレーすること。桜のエンブレムを胸に全力でプレーしたい!」。